草刈り費用の削減・害虫発生の抑制に
防草クロス
PT. HAGIHARA WESTJAVA INDUSTRIES

7 西ジャワ州ブカシ県チカランのジャバベカにある商業施設「ハリウッド・ジャンクション」で29、30日の両日、さくら祭りが開催された

2 州議会選挙戦、公式スタート
3 「周辺国が攻めてくる」
4 大幅上げも海外に見劣り
5 小池氏3選出馬「確実視」
6 平田がメジャー初制覇
7 3年の農村支援完了へ
7 じゃらんじゃらん
8 全面広告

2023年（令和5年）
7月31日
月曜日
第7340号
電子版 https://www.jakartashimbun.com　The Daily Jakarta Shimbun　JakartaShimbun

じゃかるた新聞
The Daily Jakarta Shimbun
Menara Thamrin Suite 501
Jl. MH Thamrin Kav. 3 Jakarta 10340
Rp.16,000

ALSOK BASS
PT. ALSOK BASS Indonesia Security Services

30日の就業説明会で、就業説明を熱心に聞く学生らと木村工業の木村社長

人を育て、互恵関係を

宮城県知事　人口減の救世主

宮城県の村井知事

日本国内で人手不足が深刻化する中、インドネシア人労働者へ期待が高まっている。宮城県の村井嘉浩知事は29日、人材の育成や受け入れを加速する覚書をイダ・ファウジヤ労相との間で交わした。翌30日には日本語を学ぶ高校生ら653人を集めた就業説明会を開催。人口減の「救世主」と位置付ける考えを鮮明にした。（長谷川周人、写真も）

「東日本大震災の後、人口減少が加速した。35年後には30％減と予想される。ジェットコースターのようで、もう県内経済がもたない」

深刻な人口減少に悩む村井知事は就業説明会で、集めた学生らに「宮城県はみなさんを家族として迎えたい」と訴えた。その真意を問うと、「労働力を補うという次元ではなく、地域住民として宮城県で働き、暮らしてほしい」という。

村井知事にとってインドネシアは初訪問。「日本に向く熱気がすごい。説得するまでもなく、『日本が好き』と笑顔を見せてくれるこの国の若い人たちに感激した」。

技能実習生などの受け入れを推進する覚書は、今年3月にベトナムとも交わしたが、「来年もインドネシアに来る。就業説明会も国の主催かと思うぐらい、びっくりするほど拡大したい」と意気込む。

日本の厚労省によると、日本で働く外国人労働者は全体で182万人（昨年10月現在）。内訳をみると、トップは50万人に迫るベトナム。中国やフィリピンなどが続き、インドネシアは6位だ。

ところが、トップを独走するベトナムも労働コストが急騰。このほど来イした高知市の岡崎誠也市長も、「人口規模も若さも欲しい（ぐらいだ）」とインドネシア人労働者に熱い視線を注ぐ。

これに対して説明会に参加した西ジャワ州チアンジュール県出身のミタ・イソカンタさん（18）は、よどみない日本語で「日本なら両親も安心なので、看護師として働きたいな」と目を輝かせる。説明会は普通高校や職業訓練校を対象に653人を招待したのに対し、98％が出席するという関心の高さを示した。

技能実習生などに対する日本の対応は「便利使い」と指摘されることもある。これについて説明会に出展した鉄道の軌道保守工事などを手がける木村工業（宮城県石巻市）の木村昭業社長は、「帰国後も国内の鉄道会社で働けるよう支援する。リーダークラスを育てて長い交流を目指し、互恵関係を築く」と外国人労働者に一過性の労働力を求める時代は終わったと認識している。

仙台市を拠点に介護事業を展開するエムズの森本格史社長も、「介護福祉士の不足は深刻だが、チームワークでそれを乗り越える日本の魅力を伝えたい。心情的に近いインドネシアの人となら、それができる」と訴える。

ハイブリットで約2.7万人力走

大塚製薬現法　ポカリスエットラン

大塚製薬現法のアメルタインダ大塚は30日、西ジャワ州バンドン市で、今年で10回目となるランニングイベント「ポカリスエットラン」を開催した。

メイン会場となるバンドンには国内404都市から10キロ、ハーフ、フルマラソンに参加するランナー1万1875人が参加。さらに103都市では、バンドンと同時スタートするオンラインマラソンも併催されて1万5523人が同時参加。計2万7398人が力走した。

バンドン会場では、州政府庁舎やアジアアフリカ通り、大モスク、ブラガ通りを巡るコースが用意され、参加者は観光地を楽しみながらレースに挑んだ。

また、昨年大会とは異なり応援エリアも特設され、ランナーだけではなく家族や友人も一緒になってマラソンを楽しんだ。沿道のホテルやコンビニなどの協力を得て、1キロごとにトイレが設置されるなど、ランナーの負担も最小限に抑えた。

同社事業開発部の中田朗さんによると、ポカリスエットランはコンセプトとして「どこからでも楽しめる」「セーフランニング」というテーマを掲げる。

このため、21年の大会から実走とオンラインのハイブリッド形式を導入。大会規模の拡大を実現し、国内各地から多くのランナーたちが参加を果たした。また、セーフランニングを楽しむため、登録者には約3カ月前に地域ごとに事前練習も実施。水分不足による身体の損傷を防ぐため、適切な補水方法なども伝えてきたという。（バンドン市＝野元瑞樹、写真も）

ポカリスエットランに参加して、完走を喜びゴールでハイタッチをするランナーたち

ニッケル生産拡大

中国・華友

【北京ロイター時事】中国コバルト大手・浙江華友鈷業は30日、インドネシアの2億ドル規模の硫酸ニッケル事業に投資する方針を明らかにした。電池の主要原料であるニッケルの生産を拡大する。

子会社の華友インターナショナル・インベストメントが、シンガポールのストライブ・インベストメント・キャピタル、リンド・インベストメントと、5万トン規模の事業を合弁で立ち上げる。合弁会社名は「華翔リファイニング・インドネシア」となる予定。

華友はまた、傘下子会社が非公開企業パーラックスの株式50・15％を2億0040万ドルで取得すると表明。これによって華友はインドネシアでフェロニッケル（鉄とニッケルの合金）の生産ライン2本の所有権を得ることになる。

LGBT書籍を規制へ

国立図書館

LGBT（性的マイノリティー）への締め付けが強まる中、中央ジャカルタにある国立図書館のムハンマド・シャリフ・バンド館長が、同性愛を助長する書籍を館内から一斉回収する方針を明らかにした。

地元メディアによると、国立図書館は今後、国際標準図書番号（ISBN）が発行されている同性愛やLGBTを助長する内容の図書を排除する。

LGBTをめぐっては、外務省が昨年5月、LGBTを象徴する「虹色の旗」を掲げた英国大使館に抗議し、外交問題にも発展している。（ユリアニ・トゥリ・アストゥティ）

為替（30日）

◇円・ルピア・ドル
三菱UFJ銀行支店
1万円＝103万8000ルピア（28日終値）
1ドル＝1万4725ルピア（同）
両替商調べ
1万円＝107万9000ルピア
1ドル＝1万5000ルピア
◇円・ドル
日本銀行（17時現在）
1ドル＝139.75〜76円（同）

世界の株価（30日）

日経平均(28日)	インドネシア(28日)	NYダウ(28日)
32,759.23	6,900.23	35,459.29
131.50	3.57	176.57
0.40%	0.05%	0.50%

※前日比は前営業日ベース

あちこち

▼火災現場から噴き出す黒煙

北ジャカルタのムアラカプックで30日、住宅密集地から出火し、黒煙が立ち上がった。火災は住宅地近くの倉庫にも延焼した。（アンタラ）

▼障がい者たちの音楽会

中部ジャワ州ソロ市のカーフリーデーで30日、音楽パフォーマンスを行う障がい者たち。障がいのある地元音楽家の才能や関心を高めようと開催された。（アンタラ）

▼プラスチックフリーの実現を

中央ジャカルタのスディルマン通りで30日、プラスチックフリーを求めて行進する市民団体のメンバーら。使い捨てプラスチックの使用を削減するよう訴えている。（アンタラ）

▼石を集める女性たち

北マルク州ヒリ島で30日、建築資材となる石を集める女性。島内に住む女性のほとんどは石材集めを生業とする。60キロ当たり25万ルピアで取引される。（アンタラ）

持っててお得、じゃかるた新聞メンバーカード
じゃかるた新聞（紙面・デジタル版・ダブルパック）を1年間購読契約のお客さまに進呈いたします。

購読のお申し込みは販売部まで
メール sale@jkshimbun.com
JJC個人会員の方には2部配達します。
くわしくは販売部まで。
じゃかるた新聞カード特典店舗はジャカルタジャパンクラブ個人会員証でもご利用できます

ホテル　2024年6月1日迄
SERES SPRINGS RESORT & SPA SINGAKERTA
25%割引*（ランドリー、スパ）
*オンライン予約割引コード：Seres&Shimbun
20%割引*（飲食）
*アルコール類除く
場所：Ubud

レストラン　2024年6月30日迄
SAKANA
お食事10%割引
*ドリンク、アルコール類は除く

ゴルフ　2023年12月31日迄
Gunung Geulis Golf Resort
特別割引
場所：Bogor

レストラン　2024年6月19日迄
SATOO DELI SHOP
1日2つまで商品が15%割引

上記の店舗にて特典がご利用いただけます。加盟店の情報は、じゃかるた新聞またはジャカルタ・ジャパンクラブのホームページからご確認いただけます。